

第2回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和7年 5 月 21 日(水)PM7:30～PM9:15

場 所 新城市役所 4 階 会議室

出席者 委員 24 名 事務局 3 名

次第

1. 会長あいさつ

2. 報告

3. 協議

(1) 令和 8 年度地域自治区予算事業の検討について

4. その他

(1) 東郷地域協議会だより第 43 号について

(2) 新体制移行計画検討分科会について

1 あいさつ

- ・会長あいさつ

- ・会長が前澤委員を議事録署名人に指名した

2 報告

- ・区長会へ配布した新城市の「地域自治区」と「地域協議会」について(資料 1)事務局より報告があった

- ・地域再生プロジェクト「田んぼアート」について、松山氏から報告があった

3 協議

(1) 令和 8 年度地域自治区予算事業の検討について

(事務局説明)

以下説明内容

① 地域自治区予算について

まず、地域自治区予算とは、住民の皆さんが市の税金の使い道を決める予算のことです。東郷に住んでいる人々が日頃感じている困りごとや、こうなったらいいのにとこの思いを、委員の皆さんが拾い上げ、東郷の課題を解決するための事業計画を作ります。その事業予算を事務局で積算し市の担当課と調整を行い、来年度に市でやっていく事業として、地域協議会から市長に建議、その後、3 月の市議会で予算案が承認されれば、来年 4 月から市の事業として実施されていきます。このような一連の流れが基本的な流れです。

ただ、地域自治区予算事業は、市が実施していくものになるため、なんでも自由に出来るわけではなく、一定のルールがあります。詳しいルールなどは資料 2・資料 3 を確認しておいてください。

② 地域自治区予算事業計画策定フロー案

つづいて資料4をご覧ください。地域自治区予算を策定していく今年度のフロー図です。当面の目標としては、9月10日の第6回地域協議会までの計5回の会議で事業計画を作り上げる必要があります。その後、事業計画について約3週間ほど地域の意見を聞き、場合によっては第7回地域協議会で事業計画を修正するため、11月7日に事業計画の完成版を市長に建議します。

わくわくするまち東郷の地域計画を参考にしながら、昨年度からの継続事業や新規事業について、各柱のリーダーが中心となってそれぞれの柱の中で検討していただきたいです。どこまでの事業計画を作り上げればいいのかということですが、資料5をご覧ください。これが昨年度市長に建議した建議書です。全部で10事業、8,470千円の事業が記載されています。この建議書を作り上げるために事業の予算や内容などを検討していく必要があります。資料6には、予算の詳細やもっと詳しい事業内容などがまとめてありますので、また確認をしておいてください。

③ 東郷地域協議会のこれまでの提案事業一覧

では、具体的にどのような事業がこれまでに実施され、今後どのような事業を検討していけばいいか、お話しします。資料7をご覧ください。これまでの東郷地域協議会の提案事業一覧です。これまで12年間で94事業が提案・実施されてきました。初めは、東郷としてここに向かっていこうという方針はありませんでした。毎年毎年、目指すべきものはその年の委員さんによって違っていて、たまたま出てきた事業が安心安全というテーマに偏りました。平成28年度からは、こどものために予算を使う傾向となり、こども園や小中学校のハード整備を行ってきました。平成29年度には、それまでみたいに行き当たりばったりではなく、計画的にみんな同じ思いを持って予算を使っていこうという声が出て、東郷の将来像を描く地域計画を作ろうとなり、3年かけて作り上げられたのが「東郷地域計画」です。この計画にある「わくわくするまち東郷」を実現するために、この計画に基づいて地域自治区予算を使っていこうという方針が地域協議会で決められました。

今年度考えていただきたいのが、この表の一番右側の令和8年度事業実施の枠の部分です。令和8年度も引き続き事業を実施する計画となっている事業については、仮で前年度と同額の予算が入っていますので、事業予算の積算を各活動団体にヒアリングする必要があります。来年度の東郷の予算上限額は、一番右下を見ていただくと10,954千円となっているので、その予算の範囲内で新規事業と継続事業をあわせた事業計画を作る必要があります。

各柱のこれまでの事業概要や今後の展望に関しては、読み上げると膨大な時間がかかるため、資料を配布することで省略させていただきます。ご自身の柱の内容についてはよく確認いただき、また、自分の柱以外の内容も把握することで、複数の柱に跨った事業の展開も可能になるかと思いますので、幅広く確認いただきますようお願いいたします。

以上で説明を終わります。事業が多岐に渡るので、十分に理解することは難しいと思います。あとは各柱のリーダーの方や継続委員の方が中心となりながら、柱ごとに検討していただきたいと思います。

(グループに分かれて協議)

午後 8 時 40 分まで地域計画の柱ごと5つのグループに分かれて検討した

(協議内容発表)

① 暮らそう

- ・地域の足を考える会については令和5年度で活動を終了しており、今年度からSバス東郷線がデマンド運行となっている。
- ・東郷の地域活動団体の活動をまとめた冊子の作成を考えたい。今年度だけでなく、次年度以降に継続が必要か検討していきたい。
- ・地域の困りごとを解消するためのお手伝いチケット制について検討したい。チケットを配布する形では問題があるかもしれない。対象者については、高齢者に限定せず助けを必要とする人とするのが良いと思う。サポートする側の人をどのように確保するかが課題となる。また、地域協議会委員だけの情報では情報が偏ってしまう恐れがあるので、区長会からも困りごとについての情報共有をお願いしたい。

② 守ろう

- ・これまでの事業を継続していいと思う。人も変わっているので、アンケートなどで各行政区で必要としている物の調査をしても良い。防災備品整備は、行政区の役員が新しくなっているので新しい提案が出てくると思う。
- ・ソフト事業も必要だと思うが具体的な事業については今後検討したい。
- ・AEDについても改めて考えたい。特に山よりの地区には必要な場所があると思う。

③ 育てよう

- ・学び学校は継続したい。
- ・休耕地については地域再生プロジェクトで実行してもらえるような事業を考えたい。
また、田んぼアート、戦国水仙などの活動をサポートしたい。
- ・草刈り機を使ったことがない人向けの講習会があるといい。また、大型の草刈り機を地域自治区で購入して貸し出すことも考えたい。
- ・その他、獣害対策としてのジビエの活用など新規事業も考えたい。

④ 学ぼう

- ・設楽原検定は今年度上級編の問題集を作成するので、問題集に係る予算はもう必要ない。検定の受験者を増やしたい。ケーブルテレビの活用や、各地域協議会に委員が出向き直接PRするなどできることはあると思う。また、検定の担い手育成として学校との連携を考えたい。例えば初級編を小学5、6年生に配布するなど。
- ・動画の作成を考えたい。
- ・昨年作成した地図を使ったスタンプラリーについて、その後の動きを知りたい。

⑤ 楽しもう

- ・東郷ホームページについては継続したいと思う。現在の予算や収益性を上げるための

記事作成がどの様になっているか、PR 部会から直接話を聞きたい。

- ・着ぐるみについては 12 回分の予算が確保されているので、田んぼアートや、450 年記念事業など予定回数分は必ず参加したい。
- ・東郷ケッターパーク事業についても、実施状況がどうなっているか実行委員会から直接様子を聞きたい。
- ・新規事業については次回以降話し合いたい。

(意見)

原田(邦)委員

- ・ホームページについて地域の情報があまり更新されていないように感じる。地域の情報をもっと知ってもらえるよう活用して欲しい。
- ・グループごとに話し合いを進めるのは良いが、分野に関わらず地域全体について話し合える場も必要だと思う。

4 その他

- (1) 東郷地域協議会だより 43 号について…回覧を行ったことを報告
- (2) 新体制移行計画検討分科会について…次回分科会委員の選出を行うことを報告

・意見シートの配布

協議の中で発言できなかったことや、家に帰ってから思いついたことなどあれば意見シートに記入して提出してもらうことを依頼した。

(質疑応答)

中畠委員

- ・新体制移行計画分科会について、どのようなものか教えて欲しい。

(事務局回答)

- ・分科会は特定の案件に対して、地域協議会とは別に会議を開いて検討していくものです。新体制移行計画検討分科会では、地域計画の推進に向けて東郷地域自治区の将来の体制について検討していきます。

滝川(安)委員

- ・新しい体制を検討するとのことであるが、地域自治区制度をやめるということも検討できるのか。

(事務局回答)

- ・新都市の地域自治区制度では地内に空白地をつくることはできない。しかし、地域に過度な負担が生じているなど、今までどおり継続することが困難となった場合などは、地域自治区の取り組み内容を実状に沿った形に変えていくことは検討できる。

○ 連絡事項

(1) 次回地域協議会開催日

6月18日(水)19時30分から

会場:新城市役所4階 会議室

【21:15 終了】